## **事業番号** 新31 - 0003

※平成31年以降	の表言	己は、新元号に読み替					_			業	<b>香号</b> 新3		0003	}	
	0	:	平成3	1年度行	政事	業レ	<u>ビュ</u>	ーシート	(		内	閣府			<u>)                                    </u>
事業名	交通環境創造推進事業					担当部局庁 沖縄振興局							作成	責任者	
事業開始年度	平成31年度 <b>事業終了</b> ( <b>予定</b> )年度		平成32年	度	担当課室		参事官(振	参事官(振興第一担当)			安邊	英明			
会計区分	一般组	<b>全計</b>													
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	沖縄振興特別措置法				関係計画、										
主要政策・施策	沖縄振興					主要	経費	その他の事	その他の事項経費						
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)								的な交通	<b>通環境</b>						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①公共交通利用促進調査、②観光客移動円滑化調査、③観光競争力強化のための魅力的な景観創出調査を実施する。														
実施方法	委託•	請負													
			28	年度	:	29年度		30年度			31年度		324	丰度要求	ξ
		当初予算		-		-		-		125		125			
	予算	補正予算		-		-		-	-		-	-			
		前年度から繰越し		_		-		-		-					
予算額・	の状況	翌年度へ繰越し		-		-		_		-					
<b>執行額</b> (単位:百万円)		予備費等		-		-		-			-				
		計		0	0			0	0 125		125			125	
	執行額			-	-			-							
	執行率(%)			-	-			-							
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)		#D:	#DIV/0! #D		#DIV/0!		#DIV/0	!						
	歳出予算目		31年度当初予算 3		32	2年度要求			主な増減理由						
平成31·32年度 予算内訳	交通:	環境等改善調査委託 費	1	25		125	-								
(単位:百万円)		 計	1	25		125									
-ABC (55 - 4)	定	三量的な成果目標	J	<b></b> 成果指標			単位	28年度	29年	F度	30年度	中間目	目標 年度	目標最終	終年度 年度
成果目標及び 成果実績					Б	<b></b> 成果実績		_	_		_				
(アウトカム)	_		_			目標値	-	-	-		_	-		-	
						達成度	%	-	-	-	-	-		-	
艮拠として用いた 統計・データ名 (出典)	_														
成果目標	栗及び	成果実績(アウトカム)	欄につい	てさらに記載れ	が必要	な場合に	<b>まチェッ</b>	クの上【別紙	1]に記:	載	チェッ	ック			
記載 定量的な目標 が設定できな		定量的な目標が設定できない理由						定性的	な成果目	目標と	28~30年度	の達成状	況・実	績	
い理由及び定		た滞の緩和等の交通環 を検討するための調査			取り組		查•分标	深刻な交通渋 所等を基に、住 造に向けた、「	民にも	観光を	子にも利用し	やすく、た	いつ魅		

	業の翌		代替目標	代替指標		単位	28年	度 29年度	30年度	中間目標年度	目標最終年度 年度	
を困難し	検証す	きめかた	: 交通渋滞の緩和等の交通 は環境改善に向けて、今後取り組むべき施策を検討する	調査の実施及びとりまとめ 報告書の件数	実績	-	-	-	-	-	-	
海場合	成目材 実績				目標値	-	-	_	-	-	-	
合			ための調査		達成度	%	-	-	-	-	-	
活動指標及び			活動指標			単位	28年	度 29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込	
活動実績 (アウトプット)			調査の実施			件	-	-	-	-	-	
() )()			間重の失応			件	-	-	-	4	4	
	算出根拠					単位	28年	度 29年度	30年度 31年度活動見		度活動見込	
単位当たり コスト			交通渋滞の緩和等の交通環境改善に向けて、今後取り 組むべき施策を検討するための調査費用から単位当た			百万円	-				31.3	
			組むへさ施束を検討するた   りコスト   X:執行額/	=1 66 -15	百万円/ 件	-	-	-	125/4			
生経計済:	政策	政策	沖縄政策の推進									
と財の政関再	価	施策沖縄政策に関する施策の推進										
				事業所管部	部局によ	る点検・i	改善					
	項目					ī	平価	評価に関する説明				
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。							自動車利用の依存度が高い沖縄においてを活用した調査・分析等を基に、住民にも着いすくがすく、かつ魅力的な交通環境を創造するな交通渋滞を緩和するための取り組み等をあり、国民や社会のニーズは高い。				光客にも利用し とにより、深刻 推進するもので	
入								本調査は、全国的な知見を踏まえ実施する必要があり、また、民間事業者の自然的な取り組みに添わる性質のまの				

			事業所管部局による点核	●・改善	
			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必	事業の目的	 )は国民や社会のニー/	ででいるが。	0	自動車利用の依存度が高い沖縄において、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境を創造することにより、深刻な交通渋滞を緩和するための取り組み等を推進するものであり、国民や社会のニーズは高い。
	地方自治体	、民間等に委ねること	ができない事業なのか。	0	本調査は、全国的な知見を踏まえ実施する必要があり、また、民間事業者の自発的な取り組みに委ねる性質のものでもないため、調査の効率性の観点からも国が率先して実施する必要がある。
要性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い 事業か。				自動車利用の依存度が高い沖縄において、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境を創造することにより、深刻な交通渋滞を緩和するための取り組み等を推進するものであり、優先度は高い。
	競争性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。	-	
		競争契約、指名競争契 札又は一者応募となっ	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一 たものはないか。	-	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。				
事	受益者との	負担関係は妥当である	oか。	-	-
業のか	単位当たり	コスト等の水準は妥当	か。	-	-
効率	資金の流れ	の中間段階での支出し	ま合理的なものとなっているか。	-	-
性	費目•使途:	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コス	ト削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	-	-
事	成果実績は	成果目標に見合ったも	らのとなっているか。	-	-
業の		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果 内あるいは低コストで実施できているか。			-
有効:	活動実績は	見込みに見合ったもの	つであるか。	-	-
性	整備された	施設や成果物は十分に	こ活用されているか。	-	-
		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業の	・・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 D右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名		
					_
業					

点検	点検結果	-					
·改善結果	改善の 方向性	_					
			外部有識者	る の所見			
-							
	,		行政事業レビュー推	進チームの	)所見		
	現 状 通 り	業の有効性・効率性・成果につい					
			所見を踏まえた改善点/概算	算要求にお	ける反映状況		
	現 状 通 り	見を踏まえ、適正な事業の実施、	予算の執行に努める。				
			備者	ŧ			
-							
<b>—</b> P -		- P C-	関連する過去のレビュ	<b>ーシートの事</b> 平成24年度		- r	
	2年度 - 6年度 -		平成23年度 - 平成27年度 -			平成25年度 - 平成29年度 -	
		年 ( 新31 - 0006 )	2	平成28年度		十成25年及	
<b>資</b> ( ( ) りたい てて補	<b>金の流れ</b> 金のの受け行い るが何をこう 記とする では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	※平成30年度実績を記入。執行実績を記入。	内閣府 125百万円 事業の企画立案 沖縄総合事務局 125百万円 事業の企画立案	はこついては翌	【一般競争入札		